



わくわく 出水南

発行：校長 上妻 薫

2学期始業式 (校長講話 一部抜粋)

(前略) さて、今日は、**富田宇宙**(とみただうちゆう)さんのことを紹介します。知っている人もいるかもしれませんが、パラリンピック水泳の選手です。なんと熊本市出身です。帯山小、帯山中、済々黌高校に通っていた時に、急に視力が低下し、(目が見えなくなっ)てしまいました。自分の夢『宇宙飛行士になりたい』という夢をあきらめて、自暴自棄になった時代もあったそうです。しかし、今の自分ができることに取り組もうと考えるようになり、幼少のころから親しんでいた水泳に取り組んでみることにしました。昨年のインタビューで、「自分が病気で夢を変えた困難に比べれば、コロナの影響で、パラリンピックが一年間延期されたことなど、たいしたことではない。パラ選手は、目標に向かって普通の人がしない苦勞をしている。**困難な状況を乗り越えるのが得意だ。**だから、皆の役に立つようなエネルギーを伝えたい。」と言っています。今回、銀メダルを獲得しました。ほとんど目がみえないなか、400メートルを泳ぎ切り、日本新記録、自己最高の記録を出しました。これまで、どれだけの苦勞があったかわかりません。それを乗り越えて栄冠を勝ち取った姿に心から拍手をおくりたいと思います。**自分の可能性に挑戦!**みんなも、自分の力を精一杯出して、挑戦してほしいと思います。コロナのせいで、『○○ができない。』と言っている、始まりません。コロナ禍にあるけれども、どうしたらできるか?何ができるか?をみんな考えて、この困難を乗り越えていきたいと思えます。

また、昨年、話を聴いたかもしれませんが、**熊本市にある馬肉料理店の前田さん**は、コロナで高熱が出て、呼吸がととても苦しく、人工呼吸器を2週間つけていました。45日間入院しましたが、体重は13キログラム減っていました。新型コロナウイルスに感染した時、お店の名前を公表しました。誹謗中傷(悪口、暴言)など心配もあり悩みましたが、やはりお店に来ていただいているお客様の命を守ることが一番、そして感染が広がるのを防ぐことが大事だと決断しました。前田さんは、店名公表をしてよかったと言われています。感染拡大を防ぐことができ、また、いつもお店に来ていただいているお客様や、近所の方、そして全国の方々

から励ましのお手紙や電話をもらったそうです。人生で一番つらいと思うほどの経験でしたが、人の温かさや優しさを直に感じる事ができたと言われています。

皆さんにも、そういった思いやりを他の人に与えられる人になってほしいです。そして、そんな学校や地域でいたいですね。今ある幸せを大切に、一人がみんなのために、みんなが一人のために、新型コロナウイルスと闘っていきましょう。

今日は、2学期が始まるにあたって、2つのお話をしました。1つ目は、このコロナ感染拡大の困難をみんなでも乗り越えること、9月は、分散登校となり、いつもと違うことがたくさんあります。運動会も延期になりました。でも、この困難をみんなでも力を合わせて乗り越えましょう。

2つ目は、コロナに感染した人が一番苦しい、みなさんには、その人が治るエネルギーを与えることができる人になってほしいというお話をしました。

マスクについては、研究データ(東京大学医科学研究所)によると、布マスクで70%、不織布マスクで75%のウィルス拡散を防ぐ効果があります。不織布マスクを正しく着けて、会話をしましょう。



9月12日までの家庭での過ごし方

本日、始業式でも、子どもたちと確認しましたが、ご家庭でもご協力よろしくお願ひします。

- ① 友達の部屋に集まって遊ぶことはしない。
- ② 友達と一緒に公園で遊ぶことはしない。
- ③ 公園で、周りの人と距離をとって、体を動かすことや散歩をすることはよい。
- ④ 午前中はオンライン授業を受け、午後は、その課題に取り組む。
- ⑤ 通院、習い事等以外の不要不急の外出を控える。

安心メールでもお知らせしました通り、運動会については、11月6日土曜日に延期しました。

